

## 例 言

- 1 本計画は、「重要文化財（建造物）旧関川家住宅」に関する保存活用計画である。
- 2 本計画は、高知市が令和2～3年度に「国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金」事業として実施し、策定したものである。
- 3 本計画は、「重要文化財（建造物）保存活用計画策定指針（平成11年3月 文化庁文化財保護部）に基づき策定した。
- 4 本計画の策定については、令和2年度「重要文化財（建造物）旧関川家住宅保存活用計画検討会」（以下「検討会」という。）、令和3年度「重要文化財（建造物）旧関川家住宅保存活用計画策定委員会」（以下「委員会」という。）を開催し、文化庁文化資源活用課・高知県教育委員会文化財課の指導・助言を得て策定した。
- 5 本計画の策定に係る事務および総括は、高知市総務部民権・文化財課が担当し、保存管理計画、環境保全計画、活用計画に係る建造物に関する現況調査・修理計画等は「保存活用計画策定支援業務」として、公益財団法人文化財建造物保存技術協会に委託した。
- 6 委員会の構成は次のとおりである。

### 委 員

- 委員 長 宅間 一之（歴史 高知市文化財保護審議会委員 会長）  
副委員長 三浦 要一（建造物 高知市文化財保護審議会委員 第一部会（建造物）・高知県立大学文化学部文化学科 教授）  
委 員 上田 堯世（建造物 高知市文化財保護審議会委員 第一部会（建造物）・株式会社上田建築事務所代表社員）  
委 員 横山 藍（建造物 高知市文化財保護審議会委員 第一部会（建造物）・香南市文化財センター 埋蔵文化財調査員）  
委 員 小笠原 貴紀（地域代表 宗教法人 土佐神社 宮司）  
委 員 伊藤 博幸（観光 高知県観光ガイド連絡協議会 NPO 法人土佐観光ガイドボランティア協会会員）  
委 員 石橋 照久（まちづくり 「一宮の昔を語る会」会長）  
委 員 溝渕 博彦（建造物・保存活用 高知県文化財保護指導員、NPO 高知文化財研究所代表）

### 指導・助言

- 稲垣 智也（文化庁 文化資源活用課 整備活用部門文化財調査官）

## オブザーバー

- 樋口 裕也（高知県 高知県教育委員会 文化財課 課長補佐兼チーフ総務担当）  
瀬尾 明弘（植 栽 高知市文化財保護審議会委員 第三部会（天然記念物（植物））・  
高知県立牧野植物園 研究員）  
濱田 眞尚（歴 史 高知市文化財保護審議会委員 第一部会（美術工芸（美術））  
古谷 直己（観 光 商工観光部 観光振興課課長補佐）  
井上 貴洋（防 災 消防局北消防署庶務予防係主幹庶務予防係長事務取扱）

- 7 「第5章の活用計画」に記載している公開・活用の具体的な取組については、委員会で  
の意見を基に実施内容を継続して検討していく。
- 8 年代表記は、元号を先とし、西暦を（ ）内に記し、見開きにて冒頭に記載されたもの  
のみ西暦を記載するものとした。
- 9 構成要素については、漢字表記、各部屋の名称は、ひらがな表記とした。
- 10 文中の「叩き」は、「三和土」と同様の意味である。
- 11 本文中の「復原」とは、痕跡や資料等の明確な根拠に基づき当初の状態に復することと  
して使用している。
- 12 協力者  
森田 拓男 ・ 森田 文子
- 13 参考文献  
『重要文化財 関川家住宅修理工事報告書』  
(昭和 53 年 3 月・重要文化財 関川家住宅修理委員会発行)  
『高知市の文化財』(平成 4 年 7 月・高知市教育委員会発行)  
『月刊 文化財』 123 号 (昭和 48 年 12 月 1 日発行)  
『月刊 文化財』 6 月号 (平成 4 年 6 月 1 日発行)  
『重要文化財 安岡家住宅 保存活用計画』(平成 30 年 3 月・安岡富美発行)  
『重要文化財 河本家住宅 保存活用計画』(令和 2 年 3 月・河本雅通発行)  
『重要文化財 三河家住宅 保存活用計画 (案)』  
(平成 28 年 3 月・徳島市教育委員会)  
『一宮小学校区津波避難計画書』  
(平成 26 年 3 月作成 平成 28 年 3 月修正・一宮小学校区町内会防災協議会)

「重要文化財（建造物）旧関川家住宅 保存活用計画」

令和4年3月31日発行

発行 高 知 市

編集 高知市総務部民権・文化財課  
高知県高知市棧橋通4丁目14-3  
088-832-7277